

繡像  
綺譚

石言遺響

13  
3816  
4











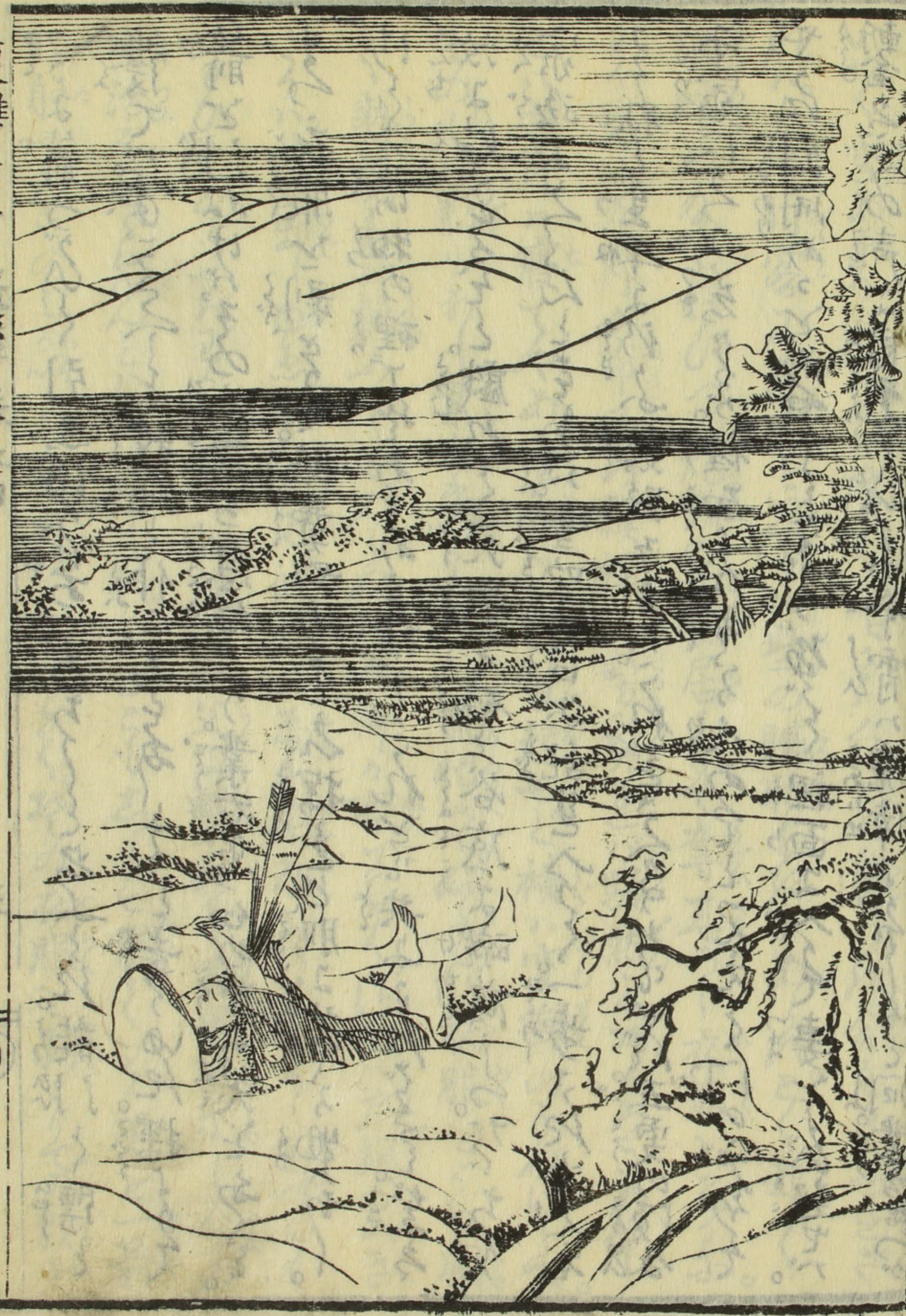
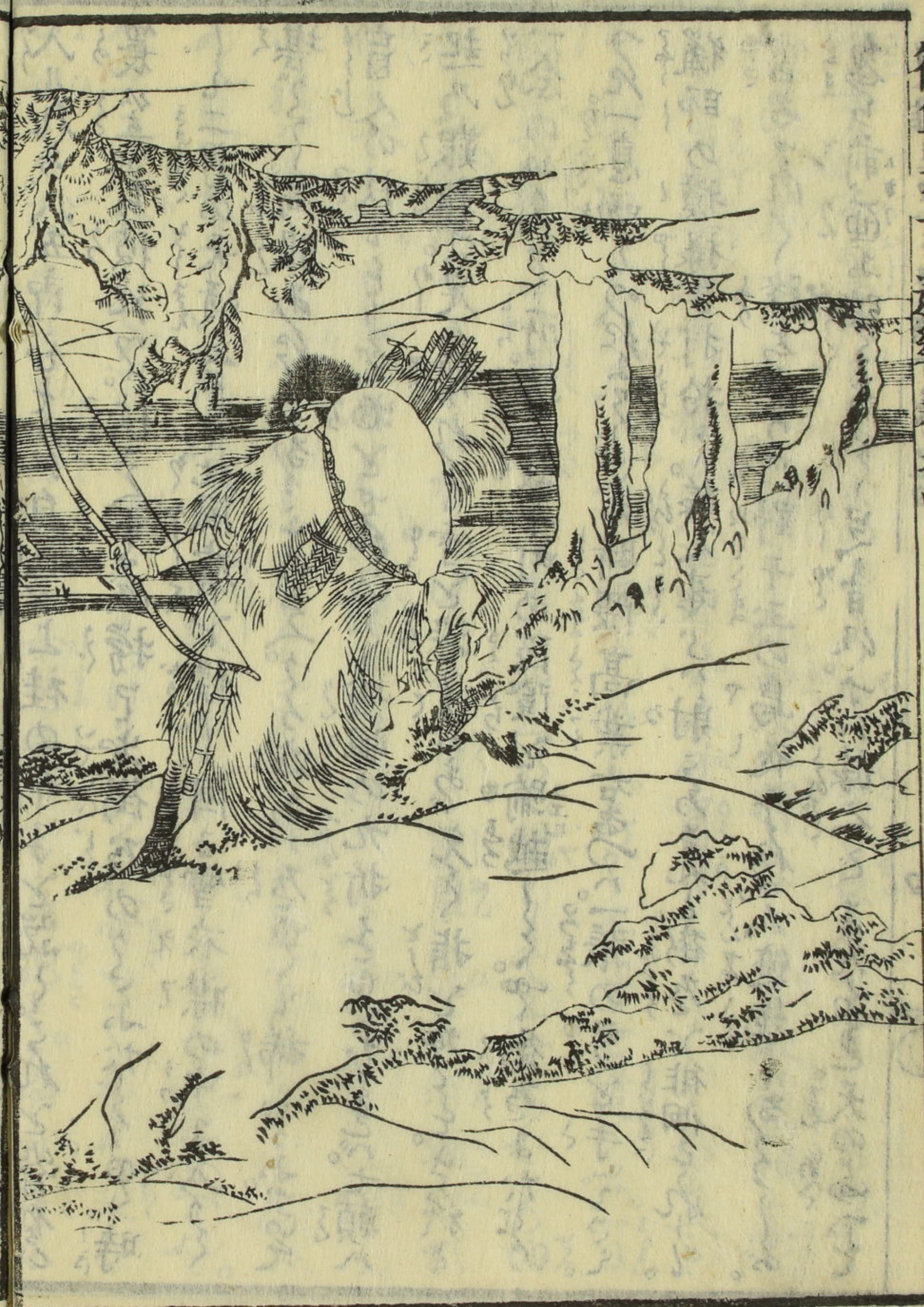
り飛錫とてゆく。いそでわら孝女は見え。群國の靈場  
 へ拜ると一個の善女に遭ひて。これ今生乃餘慶なりと稱  
 贊。又言の序にひく菊河あり。宗行俊基の寃魂とて  
 する。語つてゆく。よめと母公は告る。せむ。勲は歎き  
 ぬく。あゝ胸膈はせむ。語つて。今けり。貧道  
 つりく。怪異とて。宗行卿の寃魂。女人は生を引く障礙と  
 おさん。とて。果しとて。言ひたがひ。先帝後醍醐准后尊氏の諺言  
 と信。大塔宮と害し。あひく。天下あり。亂。義貞の  
 中將。勾當の内侍。乃色。耽。軍議。小忌。逐。越。前の足  
 小陣。没。或。師直。鹽治の妻と挑。或。良政の万字。前とあひ  
 一。あ。など。故。舉。違。あ。明。北。都。二。帰。て。縁。由。と。奏。聞。

一。速。千。僧。と。供。養。く。然。靈。解。脫。の。追。福。と。て。修。と。な。れ。と。ふ。  
 小。石。媛。の。ふ。く。老。師。の。恩。遇。と。感。謝。く。と。て。く。く。佛。檀。  
 あ。い。ま。さ。け。く。く。本。尊。も。ほ。ま。さ。と。老。師。の。畫。の。み。と。く。し  
 ろ。と。さ。び。ゆ。く。結。縁。の。さ。え。く。く。一。幅。乃。仏。像。と。圖。の。り。え  
 や。と。む。と。切。あ。き。バ。殿。司。ち。黙。頭。ず。く。影。陀。袋。の。裡。り。正。觀。世。音  
 の。畫。佛。一。幅。と。り。出。く。く。貧。道。年。來。居。多。乃。觀。世。音。と。寫。  
 ち。う。く。く。こ。の。画。幅。の。相。貌。筆。意。の。り。と。く。頗。く。の。稱。と  
 り。これ。と。東。福。寺。に。遺。く。と。び。く。の。今。法。の。孝。女。と  
 感。づ。く。と。く。これ。と。さ。る。と。と。く。與。へ。れ。バ。小。石。媛。の。せ。と。れ  
 け。け。押。つ。た。や。て。佛。壇。に。掲。け。と。す。と。く。く。旦。夕。香。花。と。進  
 と。祈。念。怠。る。と。あ。北。殿。司。の。仮。初。の。長。談。又。時。と。て。初。更。の。鐘。声。











つゝは箭つゞひく引さばう。笑あううとあふた。能く弾と  
後てば。ううと撲地と作る。あううとさうゆに探うて  
箭と引ぬけば。その人忽ち息絶う。業者あの中。笑とあう。  
まう衣服と剥とく。路費やあると。探と肌。著る物あり。  
はく。衣物の裡。しをあめと猜し。これ共ふた。さう望る  
汝は。ううと。戯れ。死骸と碇と谷底。蹴落し。ううあり  
家路。ううんと。雪吹目口。乱し入る。一步う。見え  
うう。生平。うう。熟路。うう。これをうう。や。五更の頃。及  
み家。うう。うう。裡面。うう。人あ。うう。門の前。あう  
やく。引開。あう。あう。うう。裡面。うう。妻と。び起。せ。バ。  
斬金。うう。の。声。うう。目。うう。うう。今宵。うう。僥倖。うう。うう。同業者。あう。

いつ。雪。あう。うう。降。うう。暗。うう。鼻。つた。合。うう。あう。  
れ。バ。行客。うう。逢。うう。些。の。贓物。うう。あう。うう。起。  
酒。暖。め。うう。うう。つ。灶火。の下。居。うう。奪。うう。衣服。と。うう。  
うう。児。八五郎。が。布子。の。模様。うう。髻。髻。うう。駭。然。と。あう。あう。  
こ。八五郎。の。寝。て。あう。うう。起。せ。と。横。の。空。蟬。の。うう。うう。  
その。人。の。影。うう。あう。業者。あう。うう。慌。忙。うう。うう。衣服。と。うう。用。  
うう。熟。視。と。疑。うう。うう。うう。八五郎。の。布子。うう。うう。うう。うう。  
うう。彼。が。あう。うう。うう。彼。何。の。うう。街。の。うう。うう。うう。  
あう。うう。うう。うう。悪。吏。と。諫。うう。父。は。撃。れ。と。因果。と。示。うう。今。の。  
生活。と。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。うう。一。箭。  
に。射。うう。うう。うう。うう。鳥。夜。うう。うう。うう。衣服。と。剥。うう。うう。死。骸。と。







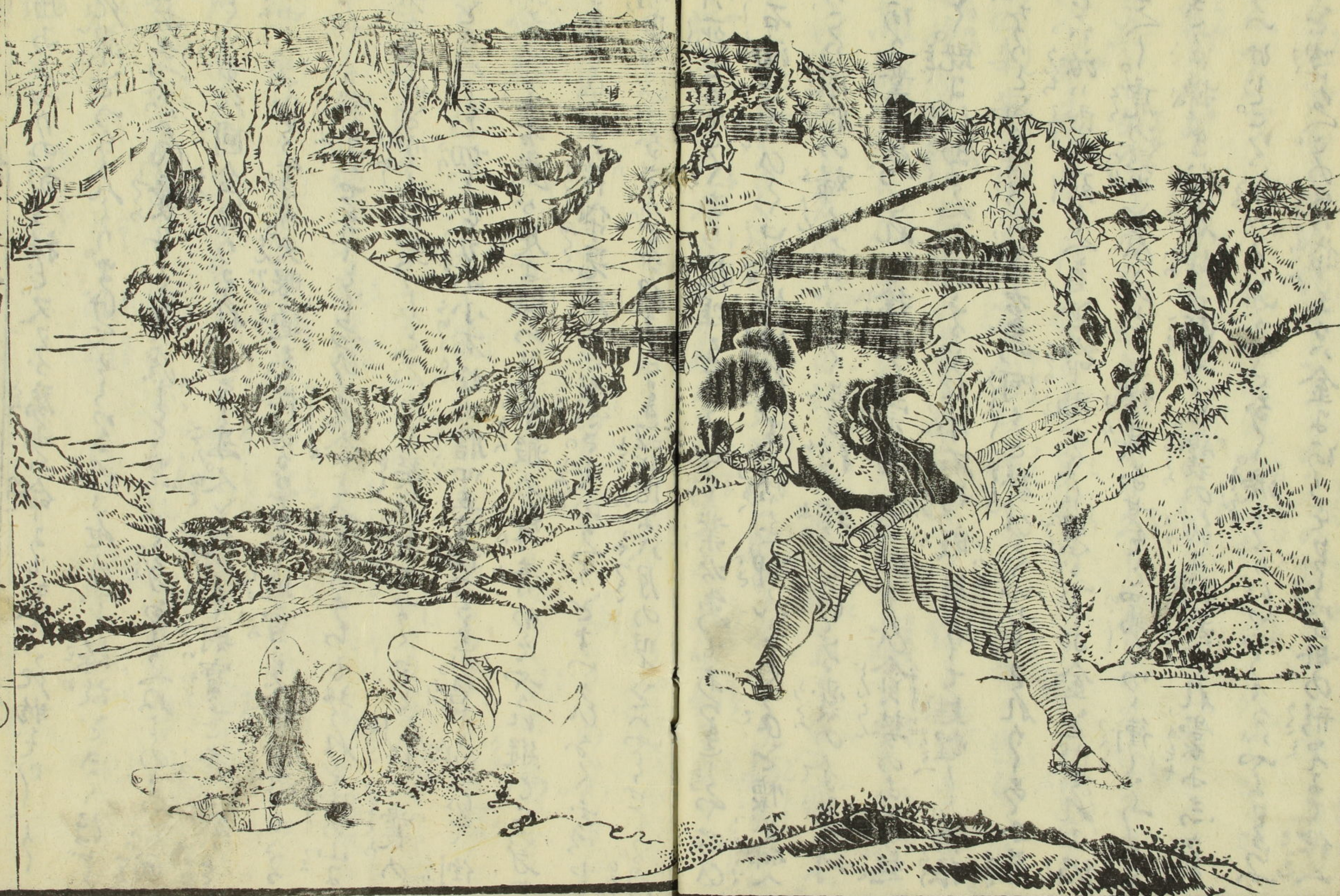




わつまゐるやもつべしあまの女の智慧ありきとあ歎  
きく。せひなく家路はせむむらゐ。沓掛村とこゝれ日しゆりや  
向暮とんあゝの庄窪す。道のねも遠くばと心のへいそ  
ぐとて女のけりろろのを。さうも久く憂苦乃中み日と  
おろ。今又さうなひらゆる。身賣のふそのへされば憂ふ一  
層の辛苦とゆらふや。勿ち病おろく一歩も運ばざれ  
ば路傍の松の本蔭ふやうひく。ぼくも悩む時しあまき  
隈高業ちまつ尺八の笛あんとさびおあ。山路を登るあつあ  
くづらふす。それ一個の婦人松蔭ふ伏るあ。途は病る人  
ちりめし。さうくこれとんま。形状の賤のさなをう。顔色いよ  
嬋妍は野の花乃霜ふやりの風情う。春と鉤て歯と切て

半の死せるてくあり。推理をてて。業ちあもあまきとやあひ  
え石滴と掬ひく口中に汰に入る。病を押んとく。と懐小挿へ  
れ。こゝ懐胎の婦人あり。どくさる。小項よりける。囊のふみすの  
る。何の業ちあつこれと拾う。完雨と。ゆゑひ貪婪のあろ起  
す。既。門物とんとあろ。小石媛。然とて。甦醒。二狼  
藉。ちろとあけ。業ちあつ。呵くと笑ひく。い。それろあ。小  
ら。汝。既。死。と。き。と。命。助。ろ。一。恩。と。金。と。バ。れ。よ。ね  
と。と。虎。の。鼻。と。ひ。ん。と。怪。我。か。せ。と。馬。り。つ。衝。う。と  
む。き。と。操。中。小。石。媛。へ。顛。つ。る。囊。の。紐。は。起。され。裳。ふ。あ。と  
さ。う。け。と。こ。と。悲。と。ゆ。め。と。あ。く。涙。と。り。に。つ。ろ。ろ。や。よ。ら。ふ  
ろ。と。す。ろ。へ。この。符。代。ち。ろ。の。金。は。何。と。ど。ろ。ろ。が。母。の。形。え。て。他。人







の用ふふりのあつ神ど。又もふあふ命もあつた物ぞの。う  
 ちれ罪とつらん。まげてらん。なほせぬ。縁故とまゝほぞ  
 業ある。ふの囊とまゝだ。といふ。かゝるぬ。のといふ。同  
 まゝもあつ圓金なり。それふ。あの人と殺し。財寶を奪ふ。それ  
 懐中へえ。する。天眼通を得る。近曾る。見の死。する  
 う。あつ殺生ハ。まゝもあつ。金と。つて。い。ち。ち。も。あ。れ。宝の山  
 入。あ。ま。と。空。く。あ。つ。と。あ。ま。笑。ハ。朴。刀。す。て。あ。ま。援。囊。の  
 奴。と。ま。つ。と。切。う。を。か。小。石。媛。の。膳。四。五。寸。切。つ。ま。バ。噫。叫。ひ。て。倒  
 つ。あ。の。業。有。あ。つ。足。は。ゆ。つ。今。般。の。聲。音。や。や。に。縦。ひ。あ。の  
 死。ま。う。と。ま。や。符。伴。見。然。う。と。ま。夫。の。う。と。ま。い。か。く。あ。の。消  
 消。ゆ。は。う。か。さ。い。と。ま。れ。く。ま。胎。肉。は。八。月。の。見。と。ま。や。せ。と。ま。

もんせど。う。と。ま。う。晴。れ。あ。そ。迷。ひ。つ。ゆ。う。ぬ。旅。路。あ。せ。ま  
 け。か。ぬ。伴。侶。な。り。と。ち。ゆ。の。人。の。ま。う。と。ま。助。う。と。ま。あ。う。ぬ  
 う。今。れ。う。と。ま。声。う。と。ま。呼。う。と。ま。研。ま。う。と。ま。松。う。風。の。と。ま。う  
 て。あ。う。と。訪。つ。人。も。な。業。有。あ。い。と。ま。た。う。と。ま。と。小。石。媛。を  
 蹴。う。と。ま。う。と。ま。刀。と。ま。う。と。ま。咽。喉。と。ま。と。刺。う。と。ま。う。と。ま。嗚。呼。う。と。ま  
 う。ぬ。命。の。婦。十七。歳。の。夢。う。と。ま。名。花。一。朝。の。嵐。う。と。ま。ぬ。法。師。は  
 鉦。鼓。の。音。ち。う。と。ま。う。と。ま。一。個。乃。法。師。忽。然。と。出。来。れ。業。有。あ。う。と。ま  
 駭。た。う。と。ま。あ。と。ま。去。る。あ。解。う。と。ま。慌。忙。う。と。ま。彼。尺。八。の。笛。と。捨。た。う。と。ま  
 時。小。石。媛。の。傷。口。う。と。ま。八。月。の。赤。子。生。れ。も。初。声。う。と。ま。泣。れ。法。師。は  
 この。光。景。と。見。と。ま。且。く。凄。凄。う。と。ま。う。と。ま。遂。小。赤。子。と。抱。き。と。ま。う。と。ま  
 つ。地。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。う。と。ま。



第八編

短笛と懐めく 壯子玉を瘞む  
關子と憐みく 靈僧錫と買ふ

其の時春本傳内ハ諸國と勸化く 洪鐘建立の施入をひひ  
生ちくなられ 遠別路をまゐる。日津那川より日くれぬまど  
ある夜と侵く 道といふに 既ハ西坂より来るに 行客  
とぞ 二人よりひつ 事をさす 人のいづく 今當掛  
の松原あり。され女の切害され。あつるハ盜賊のふるある。又色  
情のうみあり。密夫乃なせし。世あはる。ぬめのことあまや  
物ぐるく ぬれく。そのあられと 少捨をく。何となく 月より  
けバ。傳内より 道といふに。やが家より 思ひく。門はむを  
く 鎖く。いづく ぬれく。あつる。とまき。去松明より

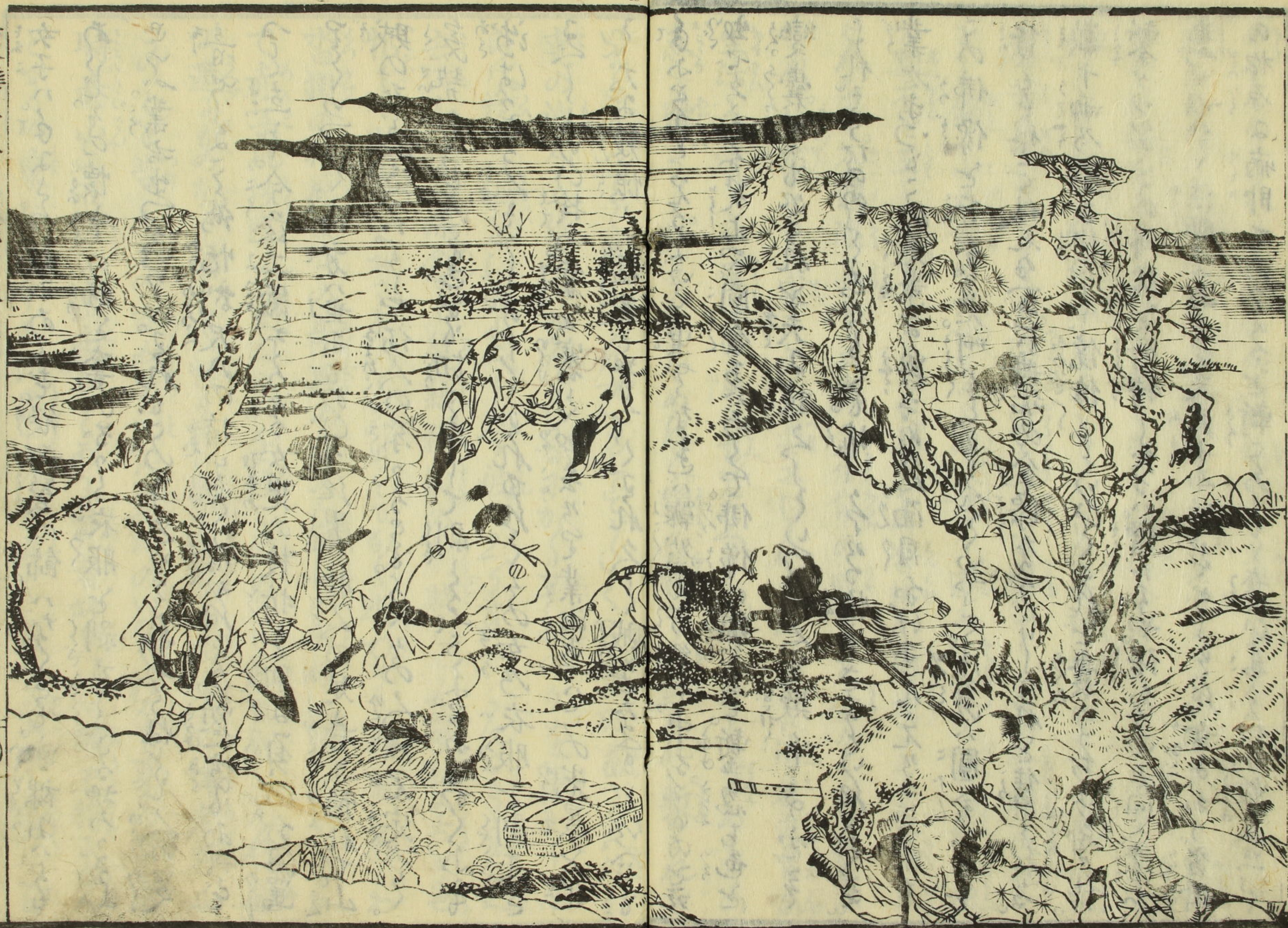
つ。當掛ちく 事く。され人罵く。と奔走く。松の本蔭より び  
く。傳内より 立く。人といふ。是なるふ。ある悲し。妻  
の石媛より 数々の疵をぬく。本は 死骸の側より。おろく  
笛も 塗れ。彼湘水乃 相思宮紅涙竹より 沃ぐ。夢より け馬  
は 哀傷 怨恨 禁む。とく。忙然く。く。やんを  
鎮め 里人あやむ。ひく。おのれ 縁のりある。とく。み笛  
く。仇人の證據も なる。とく。あきこと。ひれ。とく。懐く。挟  
まを。死骸を 扛く。ゆん。とく。重く。磐石のく。なれ。を  
を 數十人より。力戦。とく。とく。扛く。とく。一歩も 動く。運ぶ  
とく。人より。大に 怪く。遂みせん。とく。あき。とく。葬ん  
く。傳内より。穴を 穿け。く。あき。釜の。とく。一個の 壺を



中よりわれきき。何や堀出蓋とゆきき。これとて。裏みちの沙金ありて。これとて。是とゆきき。駭然とて。驚き。その福とて。やまといふとて。傳内今四より。居多の金と得く。きき。顧感激して。わたり。きき。妻横死とて。天の至孝苦節とありき。洪鐘造立の料と賜ひ。二世の宿願成就とて。偏ふ小石媛の大切ありと。嘆賞。遂に亡骸を埋つ。よ一塊の圓石とて。墓とて。今ある。沓掛の街道ある。夜啼のふれ。不題隈高業おつ。ハ付付の裡を。金をとり。わのひき。欣然とて。家より。妻おむ。ひき。きき。生活と怠り。と罵り。けき。きき。一日あり。廿日あり。の怠と。賈と。ほうき。め。錦の囊と。通典。ハ。斬金。これを

ふ。きき。重なり。きき。中より。め。と。出。きき。笑止や。圓金あり。で。佛像の軀あり。斬金。忽ち色と。變囊と。これと。夫と。投。きき。人。と。欺。きき。これ。め。きき。悔。きき。業。きき。光景。ハ。奥。きき。面目。お。きき。え。きき。この佛像と。お。きき。呵。きき。ひ。きき。法。ハ。圓金の。と。貨。きき。無垢の金像なり。きき。これと。售。きき。數十兩。乃。金。ハ。換。きき。僥倖。きき。これと。囊。の。うち。きき。斬。きき。この佛像と。所持。きき。僧。なり。や。俗。なり。や。同。業。ハ。あ。きき。法師。ハ。あ。きき。又。武士。ハ。きき。女子。あり。沓掛の松原。ハ。病。即。て。あ。きき。斬。きき。奪。きき。斬。きき。一









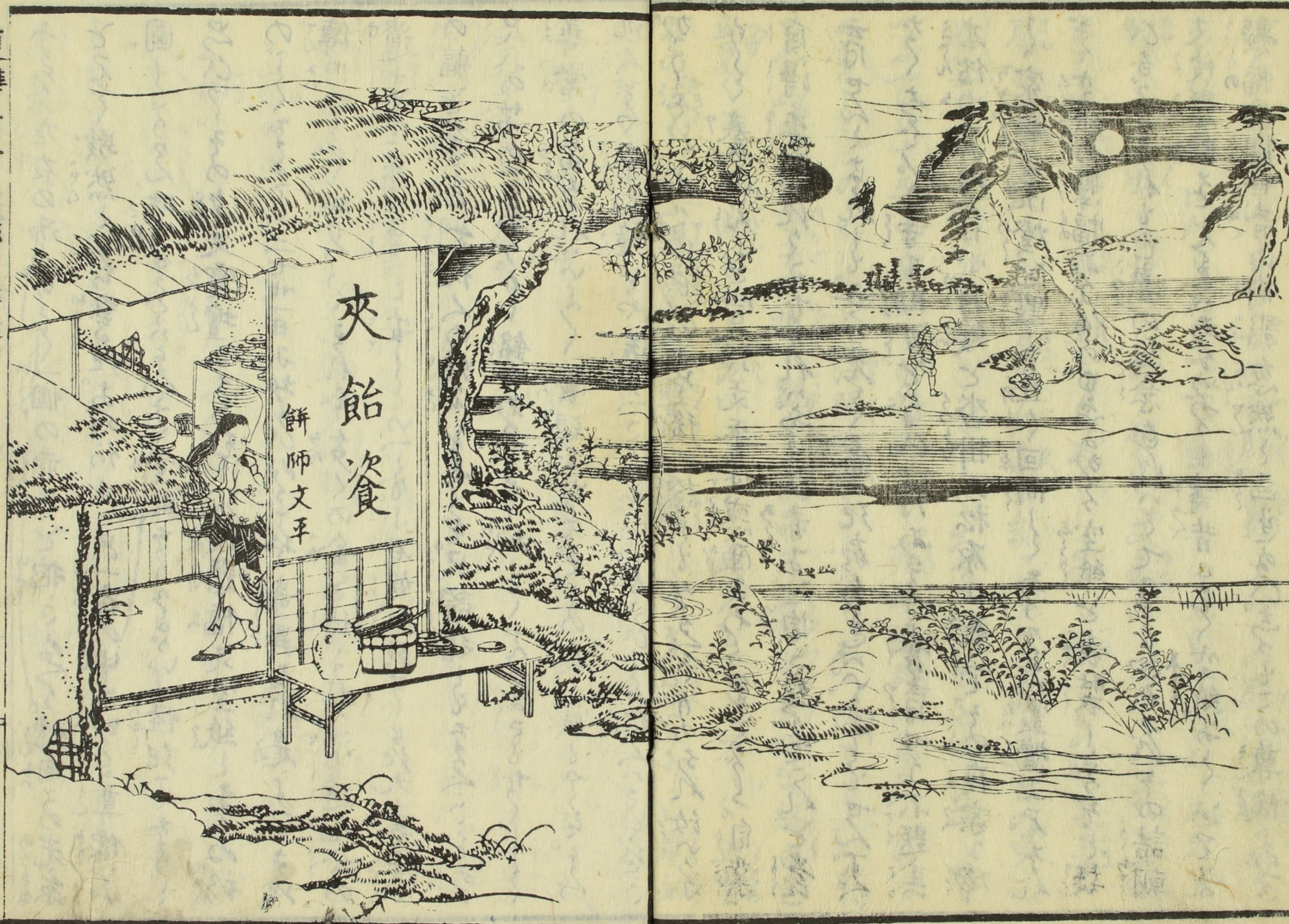
















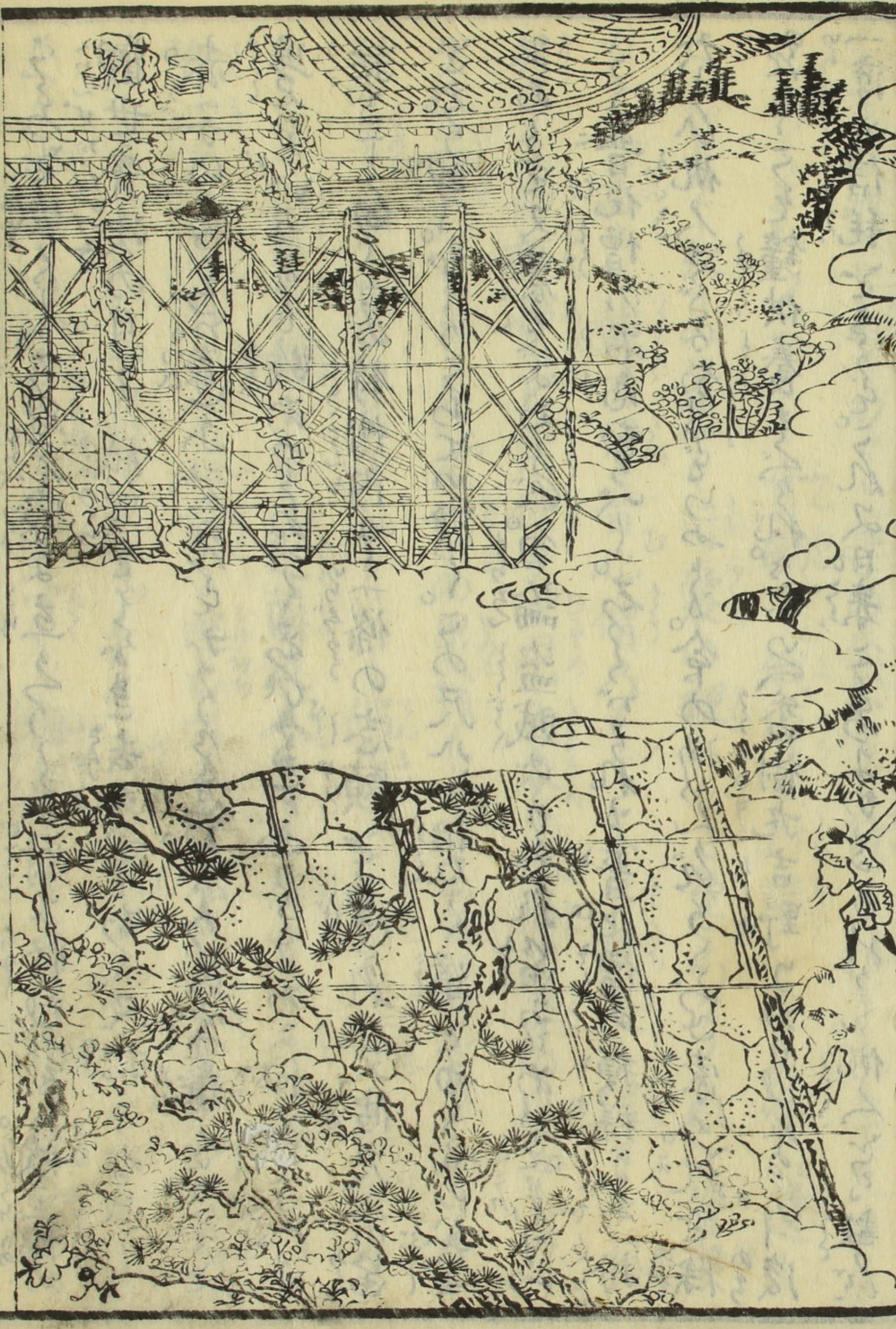
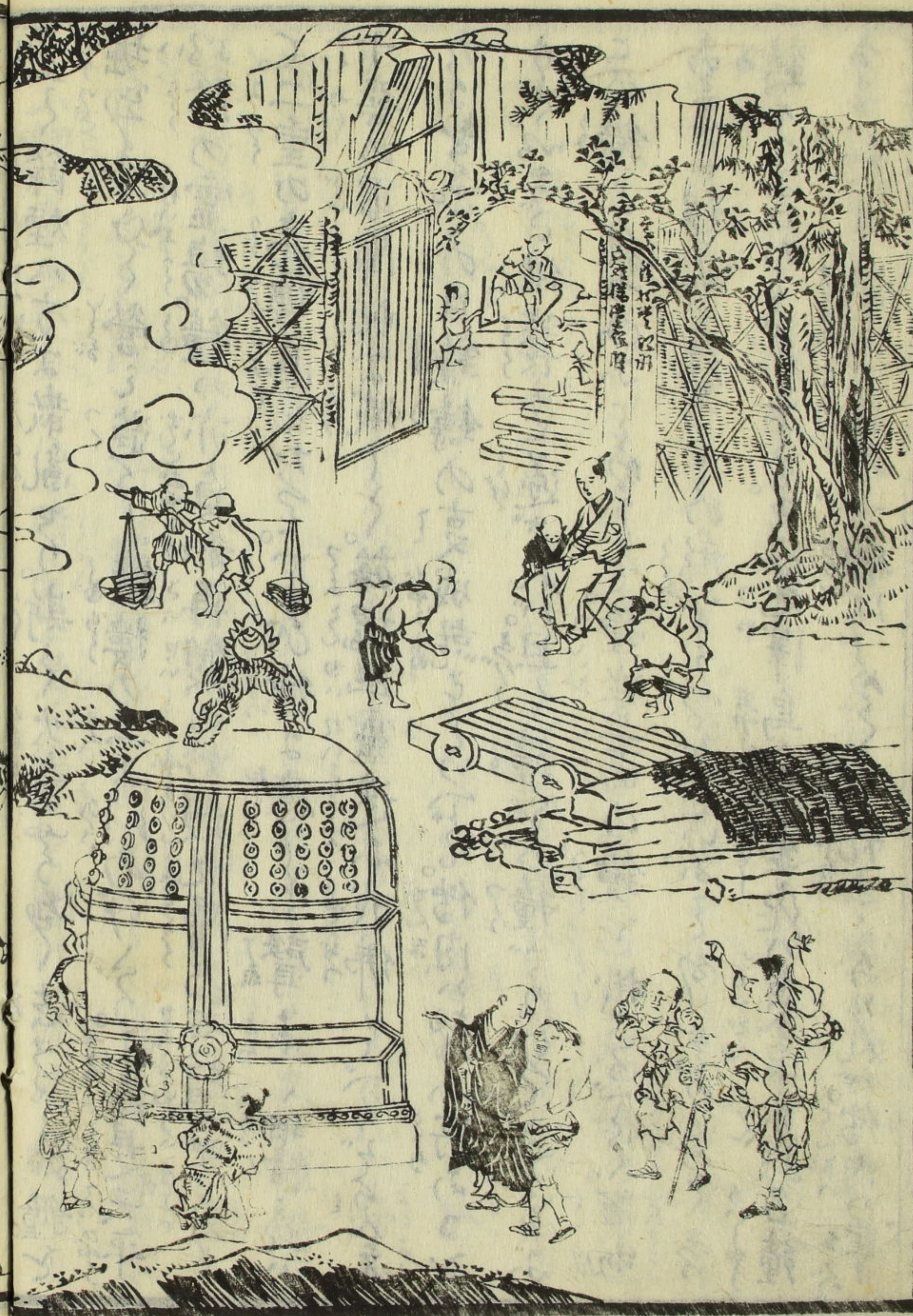


















噫と叫びく倒さければ。父母の声より驚れ。さうもくこそ  
ぐ勸せ。や。甦醒たう。や。女児と病牀は。休みの。かの  
媒の男は。縁由を問へ。あ。さ。び。さ。ぐ。れ。う。と。説く。宗仲夫婦は  
又これと。さ。で。情肉が。為。欺。さ。う。と。憤。ま。さ。ら。女。人。と。和。て  
と。く。情肉は。元。落。情。の。匹。夫。な。う。か。る。癡。漢。の。こ。ろ。さ。う。と。労  
ま。う。金。弧。玉。弦。無。用。け。う。う。や。と。く。わ。い。を。ま。い。へ。と。諫。れ。ど。  
玉衣。も。回。答。も。う。只。泣。ま。づ。て。居。る。家。

繡像復讐石言遺響卷之四 畢



